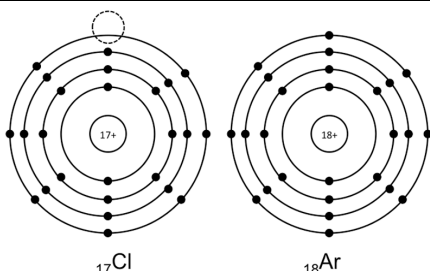
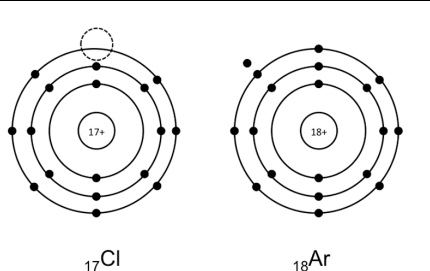


正誤表

野島 高彦 著「はじめて学ぶ化学」, 化学同人, 2014年3月1日第1版第3刷

ページ, 行	誤	正	備考
9 例題 1.8 解答(a)	$2.5 \times 10^{-1} \text{L}$	$2.50 \times 10^{-1} \text{L}$	有効数字
24 下から 9 行目	Li ⁺ のイオン半径は <u>0.90</u> nm だが,	Li ⁺ のイオン半径は <u>0.090</u> nm だが,	桁の誤り
24 下から 9 行目	Na ⁺ のイオン半径は <u>1.16</u> nm で	Na ⁺ のイオン半径は <u>0.116</u> nm で	桁の誤り
24 表 2.3	半径/ <u>10⁻¹⁰</u> m	半径/ <u>10⁻⁹</u> m	桁の誤り
33 上から 8 行目	価電子数が規則的に変わり, 価電子数も規則的に変わる.	価電子数が規則的に変わる.	説明の重複
35 上から 9 行目	図 3.7	図 3.6	番号の誤り
38 図 4.2	 <p style="text-align: center;">17Cl 18Ar</p>	 <p style="text-align: center;">17Cl 18Ar</p>	
44 上から 6 行目	電気陰性度 <u>2.1</u> の H 原子と, 電気陰性度 <u>2.9</u> の Cl 原子が	電気陰性度 <u>2.20</u> の H 原子と, 電気陰性度 <u>3.16</u> の Cl 原子が	表 4.1 の値に揃える
62 Column 右段 3 行目	分子量	質量	用語の誤り
62 例題 5.11	$\text{Mg}(\text{OH})_2 + 2\text{HCl} \rightarrow \text{MgCl}_2 + \text{H}_2\text{O}$	$\text{Mg}(\text{OH})_2 + 2\text{HCl} \rightarrow \text{MgCl}_2 + \underline{2}\text{H}_2\text{O}$	値の誤り
67 表 6.1, 濃度の定義, モル濃度	$\frac{\text{溶液の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶液の体積}[\text{L}]}$	$\frac{\text{溶質の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶液の体積}[\text{L}]}$	誤字
67 表 6.1, 濃度の定義, 質量モル濃度	$\frac{\text{溶質の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶質の質量}[\text{kg}]}$	$\frac{\text{溶質の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶媒の質量}[\text{kg}]}$	誤字
80 下から 7 行目	「CuO による H ₂ の還元反応」	「CuO による H ₂ の酸化反応」	誤字
100 まとめ 5 行目	気体から液体に変化するときには吸収する	気体から液体に変化するときには放出する	誤字
107 図 9.5 「 $n_A RT/V$ 」の右隣	nRT/V	$n_B RT/V$	脱字

107 図 9.5 上 記の右隣	nRT/V	$ncRT/V$	脱字
140 上から 9 行目	$\frac{\text{(溶液の質量)}}{\text{(飽和溶液の質量)}}$	$\frac{\text{(溶質の質量)}}{\text{(飽和溶液の質量)}}$	誤字
148 章末問題 3 上から 5 行 目	KNO ₃ の密度は 1.16 g cm ³ である.	KNO ₃ の密度は 1.16 g cm ⁻³ である.	脱字
148 章末問題 6, 1 行目	147 g の塩化カルシウム二水和物 Ca(OH) ₂ · 2H ₂ O	147 g の塩化カルシウム二水和物 CaCl ₂ · 2H ₂ O	化学式の 誤り
148 章末問題 6, 4 行目	Ca(OH) ₂ のモル質量を	CaCl ₂ のモル質量を	化学式の 誤り
162, 14.2.2	水と塩化水素の反応	水と酢酸の反応	誤字
181 例題 15.4, 3 行目		「周期表を見てもよい。」を削除.	